

障害者生活実態調査の概要について

1 調査実施の目的

本調査は、令和8年度に実施する障害福祉計画などの見直しに向け、障害者の生活実態及び福祉施策に対する要望等を把握するため実施する。

2 調査の種類

調査の種類	調査対象	対象者数
障害者生活実態調査	身体障害者及び難病患者	約2,000人
	知的障害者	約500人
	精神障害者	約700人

3 調査方法

調査方法：郵送配布／郵送・WEB回収

調査期間：令和7年11月～12月

【参考】前回のアンケート回収率（令和4年度実施）

調査の種類	配布数	有効回収数	有効回収率
生活実態調査（障害者）	2,499件	1,311件	52.5%
生活実態調査（障害児）	137件	64件	46.7%

4 調査方針

市では従前より、障害者計画・障害福祉計画改定の基礎資料とするため、障害者基本法第11条第3項、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第88条第5項の規定に基づき、当該市町村における障害者の状況等を踏まえ、市町村障害福祉計画を作成するよう努めることとされていることから、計画改定の前年度に「障害者生活実態調査」として、市独自の調査票により実施してきました。また、令和4年度調査より、障害児の視点も踏まえ、調査項目の改定も行いました。

令和7年度に実施する本調査では、従前のアンケート手法を踏襲しつつ、回収率の向上のためWEB回答も新たに加えることといたしました。